

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
牛島部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本日牧野委員、安井委員が欠席とのことで、牧野委員からは、別紙のとおり意見をいただいている。 ・ 議論時間については切れのいいところまでと思っているが、8時30分～9時を目途に進めたい。 ・ 進め方として、1つ1つ細かくやっていきたいが、視点を変えて白書に掲載されているものについて、アンケートの集計結果がでていながら、③の現計画の検証について、課題などが解決されているものは削除し、残しておくものは残し、また新たに新設するものを追加するといった視点で考えていただきたい。項目毎にいろいろな意見を出していただき、それを後日行政の方で整理してもらうようなことで進めていきたいと思う。 ・ ②の基本的な考え方を頭においていただき、考えていただきたい。 ・ 幼稚園から意見をいただきたい。
木村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大空町では保育料は月9千円、幼稚園も7千円、入園料で4千円、保育園入園料で2千円とかなり安い。美幌町も今後出生率上げるのに、保育料がすごく高いという声を聞くが、高い人で月4～5万円くらいと聞く。就園に対する支援は更に力を入れる必要があるのではないか。
高木部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供子育て支援制度の移行により、町内2園の幼稚園のうちの1つが27年度から認定保育園に移行される。今後なるべく保育園と幼稚園の差がないようにといった方向へ動いている。
木村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年収300万円くらいの人で保育料はどのくらいなのか。
高木部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育料はちょっとわからないが、幼稚園の場合、入園料4万円と月額1万6千円程度だと思う。所得に応じ、年額を補助している。
那須主幹	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちづくり白書の中では、保育園については子育て支援の項目で民生部会側の区分になる。
牛島部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが育てやすい環境を作って定住人口を増やしていったらと思う。東川町などは現在とても一生懸命取り組んでいる。支援は必要ではないかと思うので、この幼稚園の1つ目の項目はそのまま残してはどうかと思う。
牛島部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2つ目の項目だが教材の支援は現在もやっているのか。
石澤主幹	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間職員の研修費4万5千円、教材費園児1名3千円の補助をしている。
牛島部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園はこの2つの項目は残したいと思う。その他追加する項目などはないか。
木村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 待機児童などはないか

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
高木部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園のことは不明だが幼稚園としてはないかと思う。
牛島部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 牧野委員からは病児病後児保育の意見が来ているが。
那須主幹	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育の分野になるかと思うので、民生部部会に伝えたい。 ・ 制度が変わるので新制度に基づいた支援が必要といった表現が良いのではないか、持ち帰って検討していただければ。
小田島委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経済的負担の軽減の表現は残してほしい。
牛島部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 続いて小中学校、高等学校に移るが、1つ目の「学校用備品、教材等の整備充実」の項目は継続でよろしいか。 <p data-bbox="539 808 675 842">(委員了解)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 続いて2つ目の「美幌中学校の移転・改修」は完了しているので削除でよろしいかと思う。
高木部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3つ目の「教育用コンピュータなど I T 教育環境の整備充実」はどうか。
牛島部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在6年毎に更新している。
高木部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ タブレットなどはどうか。
牛島部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後必要かと思うが、教える方のレベルがどうかという問題がある。新年度に向けて電子黒板等の整備充実で考えている。レベルがあがっていけば、タブレットということになってくるかと思う。 ・ 継続ということよろしいか。 <p data-bbox="539 1458 675 1491">(委員了解)</p>
木村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次の「複式校の解消」は終わったので削除でよろしいかと思う。 ・ 次の「地域資源を活用した学校教育の充実」はどうか。
高木部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ これは力を入れるべきではないか。
高木部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ スキーとスケート、水泳を現在外部講師入れてやっている。
木村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 聞いた話だがスキーの購入には補助があるが、レンタルには補助が無いと聞いた。就学援助の充実も必要でないか。
高木部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所得に応じて助成しているが、レンタルまでは想定していない。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
木村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨日「美幌愛し隊」の会議で例えば水泳でレベルが非常に高い選手だと、受け皿が美幌になくて、町外に行っているという話が出た。
伊藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の充実と、いい指導者に巡り合うかにかかっているのでは。
木村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ そういう場合の補助はないのか。
高木部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 例えばスケートで高校を選んだ場合なども補助は無いように、少年団のうちにそこでしっかりと練習してもらい、オリンピックやワールドカップなど出るといったときは応援していきたい。
牛島部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合的学習の時間は中学校にはないのか。
高木部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 博物館など体験メニューを作って、その中で選んでもらっている。
伊藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体験を教育に取り入れたいとのことだが、産業体験だとかのメニューも考えていく必要があるのでは。教育部会は体験という言葉が基本目標なので。
牛島部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合的学習が今後少なくなってくるので、社会教育とタイアップして体験活動と、コミュニケーションアップもやっていかなければならない。
石澤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土曜日午前中に学校で授業として体験学習させるようなことはできないのか。
高木部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 美幌では社会教育、博物館、トレセンなどいろいろな機会は作っている方だと思っている。しかし出てくる子は出てくるが、出てこない子が問題である。
伊藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出てこないなら、学校行事としてやってはどうか。
木村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全部学校に任せるのではなく、学校行事として機会をつくり実際には社会教育や、地域とタイアップして体験する機会を作ることを考えることはできないか。
牛島部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先進的な町もあるので研究してほしい。年間2回でも3回でもいいから親を巻き込んで始めたらいい。学校がお膳立てをして受け皿を作り、地域の人材や社会教育なども活用しては。
木村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会教育もいいことたくさんやっているが、問題は来ない子なので、来ない子をどうするかは、本来は親が仕向けなければいいが変わらないので、強制力をつけてそこに親も入れてきっかけを作っていくことが必要では。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
高木部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ みどりの村の1泊の宿泊体験プログラムなども学校に提供している。それで結構博物館の利用は増えている。利用者としては町外の子の方が多かった。
牛島部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ プログラム提供しているのでそういったものを積極的に活用するとか、学校に動いてもらうとかいったことを項目として載せてはどうか。
那須主幹	<ul style="list-style-type: none"> ・ 項目としては新たな項目として起こしてもいいのではないか。
高木部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合的な学習の時間という書き方にこだわらなくてもいいのではと思っている。
小田島委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体験学習を通じた教育の推進とかでは。
木村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段参加しない子とかにも体験学習してほしい。そこから社会教育のイベントにも出てもらうような、そのための前段階が絶対必要だと思う。
伊藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども達が何のために勉強するかを、ITとか体験とかをうまくかみ合わせていけばいいのでは。産業とかを見せて、それをやるために勉強するんだという気持ちになるような機会を作ってはと思っている。
高木部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小3、4年生には社会科副読本で美幌の産業などを教えている。
伊藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文字と写真だけでなく画像とかで見せた方が効果的だと思っている。 ・ 次に「地域と一体となった学校づくりの推進」はこのまま継続でよろしいか。 <p style="text-align: center;">（委員了解）</p>
牛島部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次に「栄養教諭の配置による食育の推進」はどうか。
那須主幹	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食育の区分にも同様の項目があるが、学校教育に係る部分になります。
高木部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校給食はセンター方式なので栄養教諭は配置せず栄養士を配置している。その中で給食も教育の一環として行われ、栄養士が学校に出て行つての教育や給食の食べ方などは低学年のうちに数回はやっている。足りない部分は養護の先生もやっている。 ・ 栄養教諭の配置となっているがこれは絶対配置しなければならないのか。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
高木部長	<ul style="list-style-type: none"> 制度上はそうになっているが、センター方式なので配置していない。また任命替えもしていない。
牛島部会長	<ul style="list-style-type: none"> この項目はどうしてもここに掲載しなければならないのか。配置できないのに掲載しておく、突っ込まれることにもなるので、食育の方に移すなり教育委員会で検討してほしい。
高木部長	<ul style="list-style-type: none"> 美幌町の食育は、地産地消が大きな柱で経済部の農政に大きな窓口があり、義務教育が教育委員会で成人が民生部の栄養士が担当となっている。
牛島部会長	<ul style="list-style-type: none"> 先ほどの項目は食育に移すことでよろしいか。 <p>(委員了承)</p> <ul style="list-style-type: none"> 次に「学校給食センターの充実」は年次的に行っているのか。
高木部長	<ul style="list-style-type: none"> 逐次行っている。
牛島部会長	<ul style="list-style-type: none"> このまま項目を残すことでよろしいか。 <p>(委員了承)</p> <ul style="list-style-type: none"> 続いて「特別支援教育の推進」は現在手厚くやっているが、継続的に行うことでよろしいか。 <p>(委員了承)</p> <ul style="list-style-type: none"> 続いて「道立高等学校の間口確保」についてだが、私としては圧倒的に足りないと思っている。地元の中学校に対し美幌高校に入る子を増やす努力をしてほしい。農業科は外から入ってきていいと思うが普通科は地元の子に入ってもらいたい。 地元の子のため通学費の支援など少し手厚い支援も必要。 美幌高校に特化した話を現場の子にする必要がある。先生にも理解してもらいたい。 進学もたくさんしているので宣伝した方がいいのではないかと。 町をあげて美幌高校を育てる環境を作ることが必要。 定員が割れると間口減になる。4間口は必要である。 美幌高校を卒業した後、町全体で就職まで面倒を見ることも必要。町民含めてそのような意識を持ってもらうことが必要で、全てが人口減につながる。
伊藤委員	<ul style="list-style-type: none"> 農業科と言っても高度な農業科だとかをアピールしていかないとならないと思う。
高木部長	<ul style="list-style-type: none"> 道立高校なので、町教委としては本来関係ないが、行事があるたび町としても広報等通じて宣伝などもしている。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
牛島部会長	<ul style="list-style-type: none"> この書き方では守りにしか見えない。もっと前向きに書いてもらいたい。
伊藤委員	<ul style="list-style-type: none"> この後の議論だが全7回でやるのか。
那須主幹	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習、芸術文化、スポーツ、青少年というように、あと4つ大きい項目がある。
伊藤委員	<ul style="list-style-type: none"> 2回で1つずつ項目を終わらせていくような感じになるのか。
小田島委員	<ul style="list-style-type: none"> 得意、不得意分野があるので部会内を2つに分けてやってはどうか。
那須主幹	<ul style="list-style-type: none"> 教育部会としての意見をもらいたいので、みなさんで協議をしてもらいたい。
伊藤委員	<ul style="list-style-type: none"> 自分が関わっていなくても分かっている部分や、人の意見を聞いて思う意見を出し合うようなことでよろしいのか。
那須主幹	<ul style="list-style-type: none"> それで構わない。
牛島部会長	<ul style="list-style-type: none"> 次回は学校教育の新たに追加する項目について議論を行い、その後食育、生涯学習（マナセン）の順番で協議を行いたい。
那須主幹	<ul style="list-style-type: none"> 私が言うのも変かもしれないが、まちづくり白書の自由記載欄の中で、人口が減少する中、小学校の学校数を減らしたらという意見が結構あるので、その辺についても次回までに考えてきていただければと思う。
小田島委員	<ul style="list-style-type: none"> 学校が減ると、かかる費用は減るのか。
高木部長	<ul style="list-style-type: none"> 費用は単純に維持費かからないので安くなる。
牛島部会長	<ul style="list-style-type: none"> 学校が減ると、人口減につながるというものではないと思う。教育の内容だと思う。